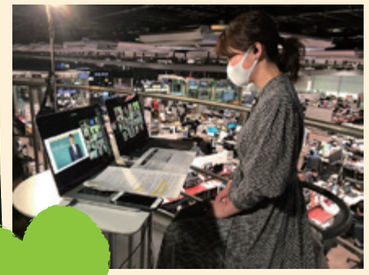
日本テレビ×新成人 新成人オンライン交流会

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、日本テレビの皆さんが、現地を訪れることもできなくなりました。オンライン交流会に向けて、生涯学習課の職員らも準備に力を合わせました。花束を贈るプロジェクトの場面や、花き農家の皆さんからのメッセージ動画を撮影。杉岡村長のメッセージの収録も、村役場で行いました。新成人の皆さんに、想いが届きますように―そう願いを込めながら、準備は進められました。



1月10日、日本テレビの全面協力で、新成人のオンライン交流会が開かれました。新成人は、仮設校舎で学んでいた小中学校時代、日本テレビの被災地支援活動「よみひと知らず」で、スタッフの皆さんと交流をしていて、今回の成人式にも協力をいただくことになっていました。式が中止となり、急遽企画されたオンライン交流会には、新成人16人が参加。当時から交流していた日本テレビの鈴江奈々アナウンサーが司会を務め、杉岡村長や、恩師による祝福のメッセージも届けられました。

INTERVIEW インタビュー

素敵な大人になっていた皆さんに感動しました

日本テレビ放送網
鈴江奈々 アナウンサー

私達は、放送日に向けた取材を行いますので、その中できちんと寄り添った報道ができているかという課題認識を持っています。被災地についても、報道するだけではなく何か一緒にできることがあるのでは…という思いで始めたプロジェクトが「よみひと知らず」です。

出会った当時の新成人の皆さんは、3校合同の小学校で学んでいました。特別授業でタブレットを配付し、カメラの使い方やリポートの仕方を教えると、とても興味を示してくれて、置かれた環境で前向きに生活していることが伝わってきました。「動く卒業アルバム」を制作しながら、「僕達をかわいそうだとは思ってほしくない」と話していた人がいて、特別な状況にはいるけれど、特別視はされたくないという思いを感じました。先生方や周りの大人が必死に対応していることを子ども達なりに受け止めて、自分にできることを前向きにしようとしていたのではないでしょうか。

成人式が中止となり、楽しみにしていたであろう「大人になった仲間と直接会う」ことはかなわなかったけれど、せめてオンラインでつながる場がつくれたらと考えました。そして、そこで会えることを、私自身も楽しみにしていました。みんな素敵な大人になっていて、それぞれの夢に向かって着実に歩んでいて、感動しました。村長が「村の宝」だと話しておられましたが、離れていても変わらず村を思う彼らは、本当に希望だなぁと感じました。困難を突き付けられて、乗り越えて来たことは、新成人の皆さんの強さや優しさにつながっていると思います。離れていても、きずながあります。全てを力に変えて、前に進んで行ってほしいと願っています。

※オンライン交流会画像およびP８使用写真は日本テレビ放送網株式会社の提供です。

日本テレビ×新成人 「よみひと知らず」の交流

「よみひと知らず」は、東日本大震災をきっかけに始まった日本テレビの被災地支援プロジェクトです。交流が始まった当時、新成人は小学6年生。3校合同の仮設校舎で学んでいました。仮設校舎で送る、かけがえのない日々を、子ども達自身の視点で映像に記録してもらおうと、「動く卒業アルバム」の制作が行われました。そしてこの活動と交流は中学時代にも続き、医師の鎌田實先生による特別授業なども開催されました。

オンライン交流会では、特別編集の映像で、当時を振り返りました。

オンライン交流会に参加した新成人からは感謝の言葉が相次ぎました。その中から、細杉睦輝実行委員長の言葉を紹介します。

日本テレビの皆さん、すばらしい会をありがとうございました。成人式の中止は、新型コロナの影響で仕方のないことと思いますが、一生に一度の特別な式なので、つらい気持ちもありました。同級生や先生方との交流の場をつくっていただき、本当にありがたかったです。震災後、間もない頃から、こんなに長い間、交流を続けていただいている。すごいことだと思います。当時、日本テレビさんの支援で、さまざまな映像をDVDに残せたことも、本当によかったと思っています。今でも、当時のことを振り返ることができます。

そして、今回、オンラインでも、出席したみんなの顔が見られたことは大きいです。すでに働いている人もいて、大人になったことを実感しました。本当にありがとうございました。